

Online Event

セッション一覧

2022.1.20 update

Social Impact Day 2021

インパクト・エコノミーへの転換点
- 社会的インパクト時代の到来 -

2022/01

21 Fri | 24 Mon | 25 Tue |

Pre-session 社会的インパクト・マネジメント入門セミナー

これから社会的インパクト・マネジメントを学ぶ方へ

社会的インパクト・マネジメントをこれから学びたい方、
Social Impact Dayのセッションでの学びを深めたい方へ！

「社会的インパクト・マネジメント（SIM）や社会的インパクト評価という名前を聞いたことがあっても内容は良く分からない...」、「関心はあるけどどのように自分の現場に活用したら良いか分からない...」という方は、まずはぜひ本セミナーにご参加ください。本セミナーでは、社会的インパクト・マネジメントとは何かという基礎的な内容の解説と具体的な事例の紹介を行い、社会的インパクト・マネジメントや事業評価、マネジメントサイクルへの理解を深めることが出来るセミナーです。本セミナーにご参加いただくことで、Social Impact Dayの各セッションがより深く理解できるようになり、またそれをご自身の現場でどのように活用できるのか、実践的な学びを持ち帰ることが出来るようになります。



<登壇者>

◎千葉 直紀

一般財団法人 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ 事務局
株式会社ブルー・マーブル・ジャパン 代表取締役

社会的インパクト・マネジメント、発展的評価等を通じた社会的事業の開発・改善が専門。グローバルシステム変革の分野で活動する評価者のグローバルなイニシアチブであるBlue Marble Evaluationにも参画。日本民間公益活動連携機構（JANPIA）評価アドバイザー／GSG国内諮問委員会IMM（インパクト測定・マネジメント）WGメンバー／一般社団法人インパクト・マネジメント・ラボ共同代表。



<登壇者>

◎源由理子

明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授
一般財団法人 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ 評議員

明治大学副学長（社会連携担当）。専門は評価論、社会開発論。国際協力事業団（現国際協力機構、JICA）等を経て現職。改善・変革のための評価の活用をテーマとし、社会セクターの政策・事業の評価手法、評価制度構築、参加型・協働型評価に関する研究・実践を積む。これまで行政、NPO、財団、企業CSR等の評価実践現場を支援。SIMI評議員。東京工業大学大学院社会理工学研究科博士後期課程修了、博士（学術）。

21 Fri 14:30-15:50 参加費無料

Pre-session 社会的インパクト・マネジメント入門セミナー

<事例紹介登壇者>



◎松井孝憲氏
KIBOW社会投資インベストメント・プロフェッショナル
株式会社グロービス ファカルティグループ研究員

大学院修了後、経営コンサルティング会社で事業立案、人事・人材開発プロジェクト等に従事。並行してNPO法人二枚目の名刺へ参画、常務理事として活動。2018年より(株)グロービスに参画、KIBOW社会投資ファンドにて社会起業家への投資（インパクト投資）と経営支援を行う。主な支援先は、株式会社バオバブ（社外取締役）、エースチャイルド株式会社、株式会社SCHOL、等。グロービス経営大学院ではソーシャル・ベンチャー・マネジメント等の科目を担当。



◎相良美織氏
株式会社バオバブ代表取締役

2010年株式会社バオバブ創業。誰もが社会の中で自分の居場所を見つけ、「人生の選択肢が開かれている社会」を創ることを目指す。Carnegie Mellon UniversityやNTT東日本などAI開発に取り組む大企業や研究組織からデータ作成業務を受託し、働き方に制約のある人々へ作業委託と実施支援を行うことで、新たな雇用機会を生み出している。2021年3月一般財団法人KIBOWから出資を受ける。

21 Fri Special Session1

(有料セッション)

16:00-17:20

『パーパス経営と社会的インパクト』
※言語：英語（英日同時通訳付き）

いまや日本企業の持続可能戦略をうらなう
キーワードとなっている「パーパス経営」。
本セッションでは、このテーマでグローバル
な潮流を作った海外ゲストを迎え、パーパス
と社会的インパクトの接合点について、日本
企業からのゲストも交え議論します。



Speaker

Bruno Roche氏

「Economics of Mutuality」
プラットフォーム創設者

2006年から2020年にかけて、マース社のチーフ・エコノミストを務め、「エコノミクス・オブ・ミューチュアリティ」の研究を行う。さらにオックスフォード大学（SBS）とCEIBS（上海）のビジネススクールでEconomics of Mutuality Labsを共同で設立し、多くの大学で客員講師を務めるほか、世界経済フォーラムの専門家としても活躍している。また、オックスフォード大学出版局の書籍『Putting Purpose into Practice: the Economics of Mutuality』をサイード・ビジネススクールのColin Mayer教授と共同出版した。



Speaker

梶原ゆみ子氏

富士通株式会社 執行役員常務
CSO（兼）サステナビリティ推進本
部長

富士通株式会社に入社後、モバイルフォン事業等の事業部門、法務本部長等を経て、2015年4月に常務理事に就任。人事本部副本部長（人材開発担当）やダイバーシティ推進室長を歴任した後、2020年4月より富士通グループのサステナビリティ推進を担当し、富士通のパーパスの策定等を牽引。2021年4月より現職。



Moderator

今田 克司

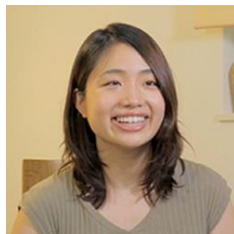
一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ 代表理事、株式会社ブルー・マーブル・ジャパン代表取締役

米国（6年）、南アフリカ（5年半）含め市民社会強化の分野でのNPO/NGOマネジメント歴25年。現在金融庁・GSG共催インパクト投資勉強会委員、休眠預金等活用法における指定活用団体評価アドバイザー等。

24 Mon オープニング
9:30-10:00 (無料セッション)

『オープニング・トーク』

国内外で格差の拡大や気候危機など課題の深刻化が進む一方、持続可能な社会づくりに向けた機運が高まり、民間セクターの役割が注目される中、なぜ社会的インパクトに注目が集まるのか。社会的インパクトを推進することでどのような経済社会が構想されるのか。現在の経済価値では測れない社会的価値をいかに可視化させていくことができるのか。世界の潮流をひもとき、SIDを開会します。



Speaker

渡部 カンコロンゴ 清花氏
NPO法人WELgee 代表理事

1991年生まれ。代表を務めるWELgeeでは、紛争や迫害、人権侵害等から日本に逃れてくる難民の若者たちがキャリアや人生の目標を築くための人材紹介サービスを運営。グローバル・コンソーシアムINCO主催『Woman Entrepreneur of the Year Award 2018』グランプリ受賞。Forbes 30 under 30、Japan & Asia 選出。Global Shapers 東京ハブ所属。



Speaker

工藤 七子氏
一般財団法人社会変革推進財団 常務理事

大学卒業後、日系大手総合商社勤務を経てアメリカの大学院で国際開発学の修士号を取得。大学院在学中、インパクト投資ファンドのパキスタン事務所でのインターンに参加。帰国した2011年より、日本財団へ入会し、日本ベンチャーフィランソピー基金、ソーシャルインパクトボンド事業、GSG国内諮問委員会など様々なプロジェクトに携わる。2017年4月に日本財団からスピンアウトする形でSIIFを設立し常務理事に就任、インパクト投資や社会起業家支援など事業全般の企画・推進を統括。



Video message

アヒム・シュタイナー氏
国連開発計画（UNDP）総裁

国連開発計画（UNDP）総裁として2017年6月19日に着任。2021年6月から2期目（4年）に就任。国連開発グループ（UNDG）の副議長も兼務。同氏は、持続可能な開発と国際協力の分野で30年以上に渡りリーダーシップを発揮し、持続可能な開発目標（SDGs）を達成するため、グローバルな結束の必要性を熱く提唱している。

2016年まで、オックスフォード大学マーティンスクールのディレクター、同大学ベリオール・カレッジのプロフェッショナル・フェロー。主な役職では、国連環境計画（UNEP）事務局長（2006－2016年）、国連ナイロビ事務局長（2009－2011年）、国際自然保護連合（IUCN）事務局長（2001－2006年）、世界ダム委員会事務局長（1998－2001年）を歴任。

24 Mon 基調講演
10:15-11:30 (無料セッション)

※開始時刻が変更となりました

『テクノロジー活用による民からの社会システム変革- インパクト・エコノミー実現に向けて -』

※言語：英語（英日同時通訳付き）

社会的インパクトの適正化・最大化が経済活動の原理の一部として実現するインパクト・エコノミーへの転換に向けて、社会的インパクト・マネジメントにおけるIoT等の情報ネットワーク技術の活用や、ガバメント・ハッカソンのように、参加型手法でのショート・サイクルでの政策立案とPDCAの実践が始まっています。本セッションでは、台湾のデジタル大臣であるオードリー・タン政務委員の基調講演と、BCG、総務省大臣補佐官を歴任、2021年度にはデジタル庁「デジタル社会構想会議」有識者委員に就任した太田直樹氏を迎えての対談により、インパクト・エコノミーを実現するデジタル・ガバナンスの未来について議論を深めます。



Speaker

オードリー・タン氏
台湾デジタル大臣（ソーシャル・イノベーション担当）

公共部門に於いては、オードリーは台湾の国家発展委員会のオープンデータ委員会委員及び国民基本教育（小学校から高等学校まで）のカリキュラム委員会の委員を務め、台湾の歴史上初と試みであるネット規則制定プロジェクトを主導している。社会的部門では、“fork the government.”（政府の再構築）を合言葉に、市民社会実現の為に創造的ツールに焦点を当てた活気あるコミュニティである g0v（ガバメント・ゼロ）に積極的に貢献している。



Moderator

伊藤 健
一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ業務執行理事
特定非営利活動法人ソーシャルバリュー
ジャパン代表理事

米国にてMBA取得後、GE Internationalに入社。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任講師。内閣府「社会的インパクト評価の普及促進に係る調査」有識者委員等を歴任。



Discussion Partner

太田直樹氏
New Stories代表
Code for Japan理事
東京都、群馬県、その他自治体のDX政策
アドバイザー

挑戦する地方都市を「生きたラボ」として、行政・企業・大学・ソーシャルビジネスが共創し、未来をプロトタイピングすることを企画・運営。市民がテクノロジーによって社会課題を解決することを後押しするCode for Japan理事。2015年1月から17年8月まで、総務大臣補佐官として、Society5.0の戦略策定と地方の活性化に従事。その前は、ボストンコンサルティングの経営メンバーとして、アジアのテクノロジーグループを統括。東京大学文学部卒。ロンドン大学経営学修士。

24 Mon 株式会社かんぽ生命保険協賛セッション

11:40-12:40 (無料セッション)

アカデミアと金融の連携によるイノベーションの創出—Well-being向上を目指して

かんぽ生命は、“あたたかさ”の感じられるESG投資の一環として、革新的な技術開発や事業への投資をアカデミアとの連携により積極的に推進し、Well-being向上など社会課題の解決に貢献することを目指しています。今回の協賛セッションでは、未来社会のビジョンを共有するアカデミアの皆さまと、医療・ヘルスケアに関する知識やデータの共有と事業化などを対象にした、インパクト志向の視点からの投資の新しい流れについて考えてまいります。



Speaker

春名 貴之氏
株式会社かんぽ生命保険
常務執行役

1991年 農林中央金庫入庫。ジャパンオルタナティブ証券株式会社（現 三井物産オルタナティブインベストメンツ株式会社）の取締役執行役員COOを経て、2016年 株式会社かんぽ生命保険入社。執行役員運用開発部長、執行役運用企画部長を経て、2021年4月より現職。市場運用部、オルタナティブ投資部、クレジット投資部の運用フロント部門全体の担当役員として、かんぽ生命の資産運用の深化・高度化並びにESG投資を推進中。1991年 立命館大学経済学部経済学科卒業。



Panelist

中村 雅也氏
慶應義塾大学医学部教授
(整形外科学)

1987年 慶應義塾大学医学部卒業。米国ジョージタウン大学客員研究員などを経て、2015年より現職。2021年より副医学部長。iPS細胞を使った脊髄再生研究の第一人者であり、臨床医として数多くの脊椎脊髄外科手術を手掛けている。医学部の産学連携・イノベーション担当として自らも企業との共同研究を精力的に進めている。本年より、JST COI-nex共創の場形成支援プログラム本格型に採択された「誰もが参加し繋がることでウェルビーイングを実現する都市型ヘルスcommons共創拠点」をプロジェクトリーダーとして主導している。第51回エルウィン・フォン・ベルツ賞 (First Prize) 受賞。



Moderator

岸本 充氏
国立研究開発法人理化学研究所 経営企画部次長

商社勤務を経て、1997年に理化学研究所に入所。科学技術・イノベーションに関わる大型プロジェクト等の企画立案に関わる。2017年に理研未来戦略室を発足し、未来社会デザインとその実装に向けた取り組みを進める。また科学と金融による未来創造をきっかけ、資本市場関係者とアカデミアとの連携に取り組んでいる。大阪大学核物理研究センター特任教授、慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート所員。



Panelist

山岸 広太郎氏
慶應義塾常任理事

慶應義塾大学経済学部卒業後、日経BPに入社。編集やウェブ媒体の開発に従事。その後、CNET Japanの初代編集長を経て、グリーを共同創業。副社長として事業部門などを10年以上統括。2015年12月に慶應義塾大学のベンチャーキャピタルである慶應イノベーション・イニシアティブを設立、代表取締役社長に就任。約150億円のベンチャーキャピタルファンドを運用し、大学の研究成果を活用したベンチャー企業に投資を行う。2021年5月より慶應義塾の常任理事に就任（財務、募金、起業家教育・支援担当）。一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会理事、産学連携部会長。



Panelist

片山 敦司氏
株式会社かんぽ生命保険
オルタナティブ投資部長

1992年 三井物産株式会社入社。ジャパンオルタナティブ証券株式会社（現 三井物産オルタナティブインベストメント株式会社）の代表取締役社長CO-CEOを経て、2021年株式会社かんぽ生命入社。運用開発部オルタナティブ投資室長を経て、2021年4月より現職。オルタナティブ投資を通して、かんぽ生命の資産運用の多様化による収益性の向上と一層の高度化を目指している。1992年 慶應義塾大学卒業。2017年 Harvard Business School (GMP) 卒業。

24 Mon 公益財団法人笹川平和財団協賛セッション

(無料セッション)

13:20-14:20

投資家として求める社会的インパクト ～ジェンダーの視点から～

投資家は、どのようにインパクトが示されることを望み、どのような点を重視するのでしょうか？インパクト・エコノミーの流れが加速する中で、環境、ガバナンス等に加え、世界的にはジェンダー平等に資する投資に注目が集まっています。このセッションでは日本の投資家として活躍するなかで、とりわけジェンダー平等を重視する二人のスピーカーを招き、アセット・オーナーが求めるインパクト・マネジメントについてお話を伺います。



Panelist

依田 純子氏

SWEEF CAPITAL アドバイザ
リー・ボード
Women of the World
Endowment(WoWE) アドバイザ
リー・カウンセラー

日本を含むアジア地域で、女性のチェンジメーカーを増やすために、女性経営者向けのファンドへの金融投資や、NGOへの助成金提供、キャパシティ・ビルディングなど、様々な活動に取り組む。ゴールドマン・サックス及びドイツ銀行のアジア太平洋地域の資金運用に携わった後、ハーバード大学のフェローを経て、ジェンダー・インパクトを目指すオルタナティブ投資の役員やアドバイザーをつとめている。コロンビア大学MBA卒業。



Panelist

古布 薫氏

インベスコ・アセット・マネジ
メント株式会社 日本株運用部
ヘッド・オブ・ESG

1997年JPモルガン証券会社入社、投資銀行部門金融法人グループにてアドバイザー業務に従事。2000年JPモルガン・アセットマネジメントへ転籍、日本株運用部門アナリストとしてテクノロジー業界を担当。2014年インベスコ・アセット・マネジメント入社。日本株運用チームのアナリストとしてテクノロジー、金融業界を担当すると同時に、ヘッド・オブ・ESGとしてスチュワードシップ活動を統括する。



Moderator

松野 文香氏

笹川平和財団 ジェンダーイノ
ベーション事業グループ グルー
プ長
アジア女性インパクト基金 ディ
レクター

1999年国連開発計画(UNDP)バングラデシュ事務所勤務時にマイクロファイナンスに出会い、女性の経済的エンパワメント・女性起業家支援事業に従事。以降、国際労働機関(ILO)とJICAにて女兒、移民労働者。人身取引被害者など社会的弱者の権利保護とエンパワメントを推進。2019年より現職。現在はアジア女性の経済的エンパワメント促進のための事業実施とアジア女性インパクト基金の運営を通じてジェンダー投資の実践に取り組んでいる。

24 Mon セッション1

(有料セッション)

14:30-15:50

『【事例セッション】社会課題解決に向けた支援の現場から-』

本セッションでは、社会課題の解決に取り組む事業者における社会的インパクト・マネジメントの実践について議論します。支援の現場では、どのようにして課題の把握や成果の可視化をし、事業の改善につなげているのか、また、それらがどのように組織としての学びにつながっているのかについて、「子ども」と「地域」を対象に活動する2団体をお招きして、対話の中から掘り下げていきます。



Speaker

今井悠介氏
公益社団法人チャンス・
フォー・チルドレン 代表理事

1986年神戸市出身。小学生のときに阪神・淡路大震災を経験。大学在学中、学生ボランティアとして子どもの体験活動や不登校の子どもへの支援に携わり、卒業後は公文教育研究会にて子どもの学習支援に従事。その後東日本大震災を契機に、チャンス・フォー・チルドレンを設立し代表理事に就任。経済的困難を抱える子どもにスタディクーポンを提供する事業を累計14都府県で展開。全国子どもの貧困・教育支援団体協議会理事。



Moderator

高木 麻美
一般財団法人的社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ理事
Stem for Leaves代表

大学、大学院修了後、コンサルティング会社、シンクタンクを経て2017年に独立。企業の経営支援を行うほか、社会的インパクト投資・評価に関する調査研究、実践支援等を行う。多摩大学社会的投資研究所客員研究員。



Speaker

森山奈美氏
株式会社御祓川 代表取締役、いしかわ
地域づくり協会 コーディネーター

石川県七尾市生まれ。(株)計画情報研究所にて、都市計画コンサルタントとして、地域振興計画、道路計画等を担当。その後、民間まちづくり会社(株)御祓川(みそぎがわ)の設立に携わり、平成11年より同社チーフマネージャーを兼務。平成19年より現職。その取り組みが日本水大賞国土交通大臣賞、ふるさとづくり大賞総務大臣表彰などを受賞。経済産業省「ソーシャルビジネス55選」に選出された。能登の特産品を取り扱う「能登スタイルストア」を運営するほか、地域の課題解決に挑戦する若者を能登に誘致するなど「能登の人事部」として人材育成にも取り組む

24 Mon セッション2

(有料セッション)

16:00-17:20

『インパクト加重会計の概要と展望 (IWAI Japan)』

インパクト加重会計はインパクトエコノミーを実現する上で欠かすことのできない重要な要素です。本セッションではハーバードビジネススクールがGSGやIMPと共同で研究・開発を進めるインパクト加重会計について、なぜインパクト加重会計が求められるのか(背景)、インパクト加重会計とは何か(定義・特徴)、どのようにインパクト加重会計を行うのか(具体的手法・実例)、そして日本での展開や今後の展望についてご紹介します。



Speaker

渋澤 健

コモンズ投信株式会社取締役 会長
一般財団法人社会的インパクト・マネジ
メント・イニシアチブ 評議員

複数の外資系金融機関でマーケット業務に携わり、2001年にシブサワ・アンド・カンパニー株式会社を創業し代表取締役に就任。07年にコモンズ株式会社(現コモンズ投信株式会社)を創業、08年に会長に就任。経済同友会幹事、UNDP(国連開発計画)SDG Impact運営委員会委員、東京大学社会連携本部シニアアドバイザー等。

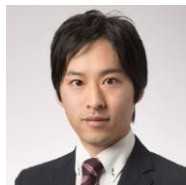


Speaker

柏倉美保子氏

ビル&メリンダ・ゲイツ財団日本常駐代表

6歳の時にメキシコで極度の貧困を目撃した体験から貧困問題撲滅を志し、投資銀行を経て責任投資業界(FTSE4Good,Sustainalytics)で企業のESG評価に従事。2013年から世界経済フォーラムで多くの地球規模課題のアジェンダ形成に携わる。2017年からビル&メリンダ・ゲイツ財団初の日本常駐代表に就任。慶應大学総合政策学部卒、米国公認会計士合格、ケンブリッジ大学MBA、世界経済フォーラム・グローバル・リーダーシップ・フェローのエグゼクティブ・マスターを取得。



Speaker

五十嵐 剛志氏
公認会計士

慶應義塾大学経済学部卒、オックスフォード大学MBA課程修了。ハーバードビジネススクールImpact-weighted Accountsリサーチフェロー。以前はPwC、内閣府、KIBOW社会投資ファンド等に勤務。Accountability for Change創設者。元Teach For Japan最高財務責任者。



Moderator

高木 麻美

一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ理事
Stem for Leaves代表

大学、大学院修了後、コンサルティング会社、シンクタンクを経て2017年に独立。企業の経営支援を行うほか、社会的インパクト投資・評価に関する調査研究、実践支援等を行う。多摩大学社会的投資研究所客員研究員。

25 Tue Special Session2

(有料セッション)

9:00-10:20

『SDGインパクト認証が進める社会的インパクト・マネジメント』

※言語：英語(英日同時通訳付き)

2022年に認証制度が始動するSDGインパクト。昨年に続きSocial Impact DayではSDGインパクトを取り上げます。同ディレクターであるファビエン・ミショー氏と同運営委員の渋澤健氏を迎え、認証制度を含めたSDGインパクトの現在地と日本の事業者としてこれをいかに活用すべきかを解説します。



Speaker

Fabienne Michaux氏
Director, SDG Impact

2019年より、持続可能な開発目標(SDGs)の達成を支援するために民間セクターの資本を動員することを目的とした、国連開発計画(UNDP)の主要な取り組みであるSDGインパクトに関わる。2021年に同ディレクターに就任。SDG Impact Standardsの開発を主導している。また、インパクト投資に関するオーストラリア諮問委員会の共同議長なども歴任。ディーキンビジネススクールの非常勤教授(金融)。



Speaker

渋澤 健

コモンズ投信株式会社取締役 会長
一般財団法人社会的インパクト・マネジ
メント・イニシアチブ 評議員

複数の外資系金融機関でマーケット業務に携わり、2001年にシブサワ・アンド・カンパニー株式会社を創業し代表取締役に就任。07年にコモンズ株式会社(現コモンズ投信株式会社)を創業、08年に会長に就任。経済同友会幹事、UNDP(国連開発計画)SDG Impact運営委員会委員、東京大学社会連携本部シニアアドバイザー等。



Moderator

今田 克司

一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ 代表理事、株式会社ブルー・マープル・ジャパン代表取締役

米国(6年)、南アフリカ(5年半)含め市民社会強化の分野でのNPO/NGOマネジメント歴25年。現在金融庁・GSG共催インパクト投資勉強会委員、休眠預金等活用法における指定活用団体評価アドバイザー等。

25 Tue セッション3
10:30-11:50 (有料セッション)

『テクノロジーが促進する社会のインパクト志向』

※言語：英語（英日同時通訳付き）

社会システムへの組み込みやビジネスセクターの転換等世の中がインパクト志向へ向かう中、テクノロジーはどのような役割を果たすのでしょうか。そして、それは受益者のためになるのでしょうか。特にデータとデジタル技術を活用し業務や組織を変革するDX（デジタルトランスフォーメーション）の観点からみた社会的インパクト・マネジメントについて、現状と未来について議論します。



Speaker
Sasha Dichter氏
60 Decibels共同創設者

60 Decibelsは世界中の組織が顧客や受益者等をより理解するための支援を行う社会的インパクトとカスタマーインテリジェンスを主軸とした組織である。世界700人以上のリサーチャーがインパクト測定を行うサービスを提供。前職は12年間Acumenに勤務。Lean Dataと社会変革のための世界的な学校である+Acumenの創設に携わる。ハーバード大学ケネディスクール（行政学修士号）、ハーバード大学ビジネススクール（MBA）取得。



Moderator
落合 千華氏
ケイスリー株式会社取締役／慶應義塾大学政策・メディア研究科研究員

社会的インパクト・マネジメントを通じた行政、民間への官民連携、CSV事業等の支援に取り組む。震災復興支援を機に芸術文化とコミュニティ活性に関する研究に従事し、2020年に芸術関係者の支援基金Arts United Fundを設立。



Speaker
関治之氏
政策起業家

自由で楽しい社会参加の形を日本国民全員に届けるために活動している、共創エンジニアです。組織の枠を超えて様々な人が主体的に関わる環境づくりを通じて、企業や行政のオープンイノベーションを支援しつつ、自身でもいくつか会社を経営しています。Code for Japan では、「ともに考え、ともにつくる社会」を目指して、市民と行政がオープンにつながり、社会をアップデートする仕組みを作ってきました。HackCamp社では、上場企業や官公庁の中でイノベーションがうまれる仕組みづくりをお手伝いしています。社員の成長が企業の成長とリンクする文化を作ること、自律的に成長する組織が作れると考えています。

25 Tue ランチタイム
セッション
12:15-12:45

SIMI理事によるテーマ別オンライン トークセッション

SIMIの理事と共に、個別のテーマについて
気軽にトークするセッションです。関心の
あるルームに自由に出入り可能です。



【ルーム1】

今田 克司

一般財団法人社会的インパクト・マネジ
メント・イニシアチブ 代表理事
株式会社ブルー・マーブル・ジャパン代
表取締役

『これだけは気にしておきたいインパクト本流の動き』

「サステナブル・ファイナンスにおけるインパクト主流化」な
どという言い方もあり、あちらこちらでインパクトが叫ばれる
ようになってきています。これまで海外でインパクトを中心に
据えた潮流を作ってきたコミュニティに注目するなら「これは
外せないよね」の三大ネタの最近の動きをさわりだけご紹介し
ます。

- ・ Impact Management Project から Impact Management Platform へのメタモルフォーゼ
- ・ GIINのIRIS+ 含む Navigating Impact のサグラダファミリア的
積み上げ
- ・ G7 Impact Taskforce の速攻インパクト勝負



【ルーム3】

幸地 正樹

一般財団法人社会的インパクト・
マネジメント・イニシアチブ 理事
ケイスリー株式会社 代表取締役
CEO

『DXセッションアフタートーク』

直前に開催されたセッション3「テクノロジーが促進する社会の
インパクト志向」を振り返り、参加者と緩やかに交流します。
セッション不参加の方も気軽にご参加ください。

SIMI

【ルーム5】

SIMI事務局

『SIMIの団体・事業紹介』

Social Impact Dayの主催団体である、SIMIの事業やメンバー制
度についてご紹介します。



【ルーム2】

伊藤 健

一般財団法人社会的インパクト・マネジ
メント・イニシアチブ業務執行理事
特定非営利活動法人ソーシャルバリュー
ジャパン代表理事

『今さら聞けない社会的インパクト・マネジメント Q&A』

SIMIのコミュニティに参加してみたものの、学術用語や専門用
語、複数の手法やツールがあり、頭が混乱している方、根本的
な質問を解決したい方へ。SIMI業務執行理事 伊藤健があなたの
疑問にお答えします。参加者から質問を受け付けるインタラク
ティブなセッションを予定しています。ぜひご質問をご準備の
上、ご参加ください。



【ルーム4】

高木 麻美

一般財団法人社会的インパクト・
マネジメント・イニシアチブ理事
Stem for Leaves代表

『企業のインパクト評価・マネジメントに関するピア・トーク』

企業が生み出すインパクトの開示に関するニーズが高まり、開示
基準についても様々な動きがあります。一方、インパクト評価・
マネジメントについては、実務上、様々な課題があるのではない
でしょうか。本セッションでは、参加者同士で悩みや感想を共有
し、解決のヒントを探ります。

25 Tue セッション4 (有料セッション)

13:00-14:20

『休眠預金活用の社会的インパクトを考える～活用開始から3年の現在地と今後の展望を考える～』

日本のソーシャルセクターへのかつてない規模での資金提供と「社会的インパクト評価」の導入など業界へ激震を走らせた休眠預金活用。休眠預金の活用が生み出した社会的インパクトとは何か？活用開始からの3年間が経過した現在地と今後の展望や可能性について当事者と深掘り議論を行います。



Speaker

鈴木均氏

一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）事務局長

元NEC CSR推進部長及び（株）国際社会経済研究所代表取締役社長。立教大学21世紀社会デザイン大学院客員教授、NPO法人サステナビリティ日本フォーラム理事、（公財）日本盲導犬協会評議員、（一社）ソーシャルビジネスネットワーク理事。著書：『ステークホルダー・レビューによるCSRの経営への統合化促進、企業と社会フォーラム編』（共著）他



Speaker

白井智子氏

新公益連盟代表理事

東京大学法学部卒業後、松下政経塾に入塾し、国内外の教育現場を調査。1999年に沖縄のフリースクールの立ち上げに参加し校長をつとめる。2003年大阪府池田市に不登校の子どものための日本初の公設民営フリースクール「スマイルファクトリー」を設立。東日本大震災後は福島県南相馬市に「みなみそうまラーニングセンター」など、子どもの居場所を設立。2020年からNPOや社会的企業の業界団体である新公益連盟の代表理事に就任。内閣府休眠預金等活用審議会委員、文部科学省不登校に関する調査研究協力者会議、経済産業省産業構造審議会教育イノベーション小委員会委員等もつとめる。



Speaker

番野智行氏

NPO法人ETIC、ソーシャルイノベーション事業部 事業統括／シニアコーディネーター

1977年京都府亀岡市生まれ。東京大学法学部卒業。2000年よりNPO法人ETICにて社会起業家支援に取り組む。2005年に異文化間マーケティングを専門とするコンサルティング会社に転職。同社取締役を経て、2010年にETICに再合流。企業や政府、財団とも連携し、創業期～成長期の社会起業家・NPOを対象とした資金面・非資金面の支援に長年携わる。一般社団法人ジャパン・フィランソロピック・アドバイザー理事。



Moderator

鴨崎貴泰

一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ専務理事、日本ファンドレイジング協会 常務理事

グロービス経営大学院卒業（MBA）。環境コンサルティング会社を経て、公益財団法人信託資本財団に設立時より参画し、社会起業家に対する無利子・無担保融資事業やNPOのファンドレイジング支援事業を行う。同財団を退職後、2014年NPO法人日本ファンドレイジング協会へ入職し2015年1月より事務局長、2018年6月より常務理事兼事務局長、2020年4月から事務局長兼任を解き常務理事専任となり、現在に至る。

25 Tue セッション5 (有料セッション)

14:45-16:05

『サステナブル・ファイナンスにおける情報開示とインパクトの主流化』

持続可能な社会に向けた動きを財政面でリードする金融界にあって、サステナブル・ファイナンスの実務において世界は目まぐるしく動いています。本セッションでは、中でも注目すべき情報開示や報告の分野におけるインパクト主流化とは何か、その中心課題を掘り下げ、参加者とともに理解を深めます。



Speaker

井口譲二氏

ニッセイアセットマネジメント
チーフ・コーポレート・ガバナンス・オフィサー 執行役員。

IFRS（国際会計）諮問会議委員、金融庁サステナブルファイナンス有識者会議委員/金融審議会専門委員/ディスクロージャーワーキング・グループ委員/企業会計審議会監査部会臨時委員など。主な著書に『財務・非財務情報の実効的な開示』（別冊商事法務2018年4月）『コーポレートガバナンス・コードの実践』（共著、日経BP、2021年8月）など。



Speaker

園田周氏

金融庁 企画市場局企業開示課
国際会計調整室長

2001年財務省入省。2018年7月より現職にて、会計・監査・サステナビリティ報告政策を担当。2018年10月、証券監督当局の国際機関であるIOSCO（証券監督者国際機構）で会計・監査・開示政策を担当する委員会の議長に史上初めて日本人として就任。2009年から2013年にも金融庁企業開示課で勤務し会計・監査関連の国際会議に日本代表として出席、2014年より在ニューヨーク日本国領事として米国で勤務。



Moderator

水口剛

公立大学法人 高崎経済大学学長
一般財団法人 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ 評議員

筑波大学卒。ニチメン(株)、英和監査法人などの勤務を経て、高崎経済大学経済学部教授。博士(経営学、明治大学)。専門は、非財務情報開示、責任投資(ESG投資)など。市場メカニズムを通して持続可能な社会を実現するために、ESG(環境・社会・コーポレートガバナンス)の要素を投資意思決定に統合する責任投資を日本で定着させることを目指して研究・提言している。環境省「ポジティブインパクトファイナンスタスクフォース」座長、金融庁・GSG国内諮問委員会共催「インパクト投資勉強会」座長、NPO法人社会的責任投資フォーラム共同代表理事などを歴任。主な著書に『責任ある投資—資金の流れで未来を変える』（岩波書店）、『ESG投資—新しい資本主義のかたち』（日本経済新聞出版社）など。

金融における中堅中小企業のインパクト志向支援～本質的なサステナビリティ経営への変革を目指して～

経済全体でのインパクト志向や、個社の事業を通じたインパクトへの取り組みには、サプライチェーンの大層を占める中堅中小企業の参画が不可欠です。本セッションでは、中堅中小企業におけるサステナビリティ経営とインパクト志向について、海外や先進企業の取り組みを参考に、金融機関の支援事例を交えながら、皆さんと考えていきます。



Speaker

末吉 光太郎氏
みずほフィナンシャルグループ 法人業務部 サステナブルビジネス企画チーム次長

みずほ銀行入行後、大企業法人営業、国際業務・国内法人業務企画部門等を経て18年より法人向け銀行ビジネスのデジタル化ならびに自ら立ち上げたSDGsビジネスデスクを率いて、社会課題解決型ビジネス開発・支援とインパクト融資を推進中。21年より法人向けサステナブルビジネス企画を担当。



Speaker

大谷 智一氏
みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 コンサルティング本部 グローバルイノベーション&エネルギー部グローバルイノベーションチーム 次長

2003年入社。バイオマスを活用した再生可能エネルギー分野の調査研究、事業立上支援等を経て、アフリカ・ルワンダ共和国における花卉（リンドウ）栽培事業立上げに参画。2019年4月より現職にて、SIBに関連する調査研究、SDGs、サステナファイナンスに関する商品開発を主導。主な著書に『経済がわかる論点50 2020』、『バイオマス・廃棄物発電によるエネルギー利用の最前線と課題：地産地消と地域活性』など。



Moderator

鴨崎 貴泰
一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ専務理事
日本ファンドレイジング協会 常務理事

グロービス経営大学院卒業（MBA）。環境コンサルティング会社を経て、公益財団法人信頼資本財団に設立時より参画し、社会起業家に対する無利子・無担保融資事業やNPOのファンドレイジング支援事業を行う。同財団を退職後、2014年NPO法人日本ファンドレイジング協会へ入職し2015年1月より事務局長、2018年6月より常務理事兼事務局長、2020年4月から事務局長兼任を解き常務理事専任となり、現在に至る。



Speaker

ピーター D. ピーターセン氏
NPO法人NELIS代表理事

1967年デンマーク生まれ、日本在住30年。NPO法人NELIS代表理事、大学院大学至善館教授、株式会社丸井グループ社外取締役。サステナビリティ+リーダーシップ+イノベーションをライフワークとしています。

25 Tue クローキング (有料セッション)

17:15-18:00

『【総括的ディスカッション】社会的インパクト・マネジメントの未来～多様な立場のステークホルダーにとって意味ある在り方とは～』

3日間のSocial Impact Dayでの議論を元に、今後社会のインパクト志向はどのように進んでいくのか、また私たち一人一人が果たすべき役割は何か、SIMIの理事たちが3日間を振り返りながら議論を深めます。



Speaker

伊藤 健

一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ業務執行理事
特定非営利活動法人ソーシャルバリュー
ジャパン代表理事

米国にてMBA取得後、GE Internationalに入社。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任講師。内閣府「社会的インパクト評価の普及促進に係る調査」有識者委員等を歴任。



Speaker

鴨崎貴泰

一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ専務理事、日本ファンドレイジング協会 常務理事

グロービス経営大学院卒業（MBA）。環境コンサルティング会社を経て、公益財団法人信頼資本財団に設立時より参画し、社会起業家に対する無利子・無担保融資事業やNPOのファンドレイジング支援事業を行う。同財団を退職後、2014年NPO法人日本ファンドレイジング協会へ入職し2015年1月より事務局長、2018年6月より常務理事兼事務局長、2020年4月から事務局長兼任を解き常務理事専任となり、現在に至る。



Speaker

今田 克司

一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ 代表理事、株式会社ブルー・マーブル・ジャパン代表取締役

米国（6年）、南アフリカ（5年半）含め市民社会強化の分野でのNPO/NGOマネジメント歴25年。現在金融庁・GSG共催インパクト投資勉強会委員、休眠預金等活用法における指定活用団体評価アドバイザー等。



Speaker

高木 麻美

一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ理事
Stem for Leaves代表

大学、大学院修了後、コンサルティング会社、シンクタンクを経て2017年に独立。企業の経営支援を行うほか、社会的インパクト投資・評価に関する調査研究、実践支援等を行う。多摩大学社会的投資研究所客員研究員。



Moderator

幸地 正樹

一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ 理事
ケースリー株式会社 代表取締役
CEO

社会的インパクト・マネジメントやソーシャル・インパクト・ボンドなど社会課題解決に向けた手法の研究開発・導入支援の他、行動科学とSMSを組み合わせた行政向けプロダクト開発にも取り組む。琉球大学非常勤講師。